

千葉県循環器病センター 心臓血管外科研修の概要

心臓血管外科プログラム

研修実施責任者：浅野宗一

研修場所：千葉県循環器病センター

到達目標：心臓血管外科チームにおける手術治療や術前術後管理を初めとする基本的医療知識、技術を習得することを目標とし、初期臨床研修期間においても開心術の実際や、循環管理、全身管理などを研修し心臓血管外科の臨床について理解する機会を得るために設定している。外科の基礎研修後の研修医に対しては技量に応じて血管縫合などの指導を行う。

- 1 診断 心臓血管外科の基本的診察法、検査、技術を習得する。
 - (1) 心臓血管外科の基本的診察法、技術を習得する。
 - (2) 心臓血管外科の基本的検査とおよび臨床的意義を理解する。
 - 1) CT 検査（心臓、胸部大動脈、腹部大動脈、末梢血管）
 - 2) 超音波検査（心臓、頸部血管、腹部血管、末梢血管、静脈）
 - 3) 心臓カテーテル（心臓、冠動脈）、
 - 4) 血管造影検査（胸部大動脈、腹部大動脈、末梢血管、静脈）
- 2 治療
 - (1) 以下の治療ができる
 - 1) 呼吸管理（人工呼吸の管理、気道確保、気管内挿管）
 - 2) 循環管理（循環作動薬使用、ペースメーカー・除細動施行）
 - 3) 輸液管理（水分バランス管理、栄養管理、輸血管理）、
 - 4) 疼痛・発熱・譫妄等
 - (2) 以下の治療の方法、適応および合併症について述べることができる。
 - 1) 人工心肺装置
 - 2) IABP 装置
 - 3) 透析（CHDF・HD・血漿交換）装置
 - 4) ECMO（PCPS）装置
 - (3) 手術（助手）への参加
 - 1) 開胸・閉胸・開腹・閉腹・開創・閉創術
 - 2) 体外循環手技
 - 3) 基本的血管吻合手技
 - 4) 先天性心疾患根治術・姑息手術
 - 5) 冠動脈バイパス術
 - 6) 弁置換術・弁形成術
 - 7) 大動脈瘤人工血管置換術・大動脈ステントグラフト内挿術

- 8) 末梢血管 EVT・バイパス術
- 9) 静脈瘤治療・静脈瘤レーザー焼却術
- (4) 人工臓器を理解し基本的管理ができる
 - 1) 人工弁の理解と患者管理
 - 2) 人工血管の理解と使用
 - 3) 大動脈ステントグラフトの理解
 - 4) 末梢血管 EVT 用ステントの理解

3 経験すべき症候

ショック、意識障害・失神、胸痛・背部痛・腹痛・腰痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血、運動麻痺など

4 経験すべき疾病・病態

- 1) 先天性心疾患
- 2) 虚血性心疾患
- 3) 弁膜症
- 4) 胸部大動脈瘤・腹部大動脈瘤・急性大動脈解離・末梢動脈瘤
- 5) 閉塞性動脈硬化症、急性動脈閉塞
- 6) 静脈瘤、深部静脈血栓症
- 7) 胸腔・心嚢ドレナージなど